



# 沖縄国際大学 FD通信

発行者： 沖縄国際大学 教務部長（2010年10月20日）

## 「授業改善計画書」の導入 —共通英語「沖国スタンダード」設定に向けて—

組織的FD活動の一環として、今年度より「授業改善計画書」を導入しました。今年度の指定科目は、「英語Ⅰ・Ⅱ」です。**学生にもわかりやすい共通英語の到達目標を設定すべく**、その目標を「沖国スタンダード」として設定する素案作成作業が、FD委員及び英語担当教員を中心に現在進められています。設定作業の参考にするため、「英語Ⅰ」の授業見学を実施しました。今回は、又吉齋先生（本学非常勤教員）の「英語Ⅰ」の授業の様子及び**「自楽習ノート」の取組**をお届けします。



本学の「共通英語」の「ゴール」（＝到達目標）は、どこだと思いませんか？ご意見お待ちしています。

### 共通科目「英語Ⅰ」の授業見学

#### —英語を通じて、異文化理解を深めるきっかけ作り—

6月29日（火）に見学した授業は、次のとおり行われました。

- 1) 慣用表現トピック（体の部位や動物を用いた慣用表現）の紹介  
「胡散臭い、怪しい、疑わしい」という「Smell a rat」表現などを紹介。
- 2) 会話表現トピック（洋画・洋楽の映像を用いた会話表現）紹介  
「Stingの『Fragile』」の歌詞を紹介し、歌詞の内容について説明。
- 3) 海外の写真でみる異文化理解（今回は「サッカー」）の紹介  
W杯の時期ということもあり、「England」のOXFORDにあるサッカーチームの「OXFORD UNITED」紹介。
- 4) 数字で見る異文化理解（今回は「世界の軍事費」）の紹介  
1兆2千億円という数字を紹介。この数字は、「世界の軍事費の4日分」に過ぎないが、この金額があれば、世界中の全ての子ども達に初等教育の機会を与えることができることを説明。  
\*参考 「世界を変えるお金の使い方」（著・山本良一、ダイヤモンド社発行）
- 5) 「大きな桁数の読み方」—基本のポイント説明—  
大きな数字の読み方のポイントを分かりやすく説明し、桁数の大きな数字に慣れるためのレッスンが行われた。
- 6) 「自楽習ノート」の提出  
この日は、又吉先生が英語の自主学習の定着化を図るべく取り組んでいる「自楽習ノート」の提出日。多くの学生から提出があり、そのノートについて、又吉先生からお話を伺いました。（詳細は次ページへ）



！国際社会と対話するために、「異文化理解」は必要不可欠な学びのテーマです！

## 英語教育における自主学習の定着化に向けて―「自楽習ノート」の取組―

「自楽習ノート」とは、学生個々の興味・目標に基づいて、学生自身が英語学習ノートを作成し、個々の実情に応じた英語の自主学習スタイルの構築を目指す試みです。今回、又吉先生に、「自楽習ノート」のねらい、学習効果などについてお話を伺いました。

### Q1：本学での「英語Ⅰ」の授業について？

当初は、英語習得を技術的に、プロフェッショナルに修得できるかを考えていましたが、実際の学生は、動機、関心が様々なので困難であることが分かりました。教えることができるのは、「関心を持たせること」であると気づき、楽しみながら学べる授業へ転換しました。



### Q2：「自楽習ノート」を始めたきっかけは？

共通英語を受講している学生には、英語に全く関心のない学生、外国の異文化のみに興味のある学生、資格取得に興味のある学生、大学院進学のためにレベルの高い英語を求めている学生など、授業内容に関して、非常に多様なニーズがあることが分かりました。授業の中で、それらのニーズに対応することは、困難です。そこで、個別対応の手段とするため「自楽習ノート」をスタートさせました。



### Q3：「自楽習ノート」へ、細かなコメントを付しているが、それに要する時間はどれくらいですか？

3～4名の提出だと、1～2時間でコメントを書き終えますが、大人数だと、2週間程度必要です。始めて気づいたことですが、コメントがうれしくて、学習活動が自発的、活発的になる学生が多くいます。今後は、「自楽習ノート」を通じて、「グループワーク」を実践させる手法を検討していきたいです。また、TA・SAを採用し、TA・SAに「自楽習ノート」のコメント作成などの学習活動のサポートをさせる方法なども検討できないかと考えています。

### Q4：学生が「自楽習ノート」作成に要する時間は、平均でどれくらいか？

10頁作成する場合、3～4日程度要すると思いますが、学生によって、バラツキがあります。今の学生にとって、学習活動の“見える化”を工夫するには時間がかかると思います。



### Q5：自楽習ノート作成による学習効果はどの程度ありましたか？

数年前、スコアがグッと上がった学生がいました。なぜ、UPしたかに注目してみたのですが、結論として、英語への関心がなく、おざなりに試験を受けていた学生が、真面目に最後まで問題を解いた結果だと推察しています。また、自楽習ノートを積極的に評価する学生が多いです。